

# People

篠崎史紀  
Fuminori Shinozaki  
●ヴァイオリン



### Information

いかるが音楽コンクール  
第4回本選大会〈日程〉11月26、27日〈会場〉いかるがホール大小ホール  
／受賞者披露演奏会〈日程〉4月8日  
〈会場〉いかるがホール大ホール／コンチエルト・オーディション選抜者によるコンチエルト演奏会〈日程〉5月28日〈会場〉いかるがホール大ホール  
〈出演〉安野英之（指揮）、奈良フィル／リサイタル・オーディション〈日程〉6月予定／奈良、神戸、東京予選  
〈日程〉8月／祝祭オーケストラ演奏会〈日程〉9月16日〈出演〉篠崎史紀（vn）、山下一史（指揮）、木野雅之（vn）〈会場〉神戸新聞松方ホール  
篠崎史紀公開マスタークラス&ヴァイオリンコンサート  
〈日時〉1月23日17時〈出演〉物井彩（p）、他〈会場〉いかるがホール小ホール〈問合せ〉（一財）いかるが音楽コンクール事務局 0745-47-1069

## 音楽は最高のコミュニケーションツール 音楽を愛するすべての人に開かれたコンクールを

2013年から奈良・斑鳩で毎年開催されている「いかるが音楽コンクール」今年も第4回目となる。そのコンクールのアドヴァイザーを1年前から務めているのが、NHK交響楽団の第1コンサートマスター、篠崎史紀だ。「N響と御縁のあったコンクールで、N響理事からの紹介で出会いました」

このコンクールはどのような特色があるのだろうか。

「プロの演奏家になるためだけでなく、音楽を一生の友として生きがいに行っている人たちへ大きく門を開いています。それは、プロフェッショナルとアマチュアの交流が非常に少ない日本において、地球のすべての人たちと大きく繋がることのできる、意味のあるコンクールではないかと思っています」

篠崎は音楽について、人間がこの世に創造した最高のコミュニケーションツールと考えているとのこと。「プロフェッショナルやアマチュアの壁もなく、音楽を自由に感じる場所があることをいつも望んでいます。私が留学を決意するきっかけとなった15歳の時の渡欧で、言語も人

## 種も宗教も違う人々と音楽を通じての交流は、大きな衝撃となりました」と、自身の体験について語る。

「帰国してからはジュニアオーケストラ（TJOS）を立ち上げ、さまざまな形で音楽を愛する人々を育てて行くようになりました。このジュニアオーケストラは、全ての子供がプロフェッショナルになる訳ではないのですが、音楽の持つ力を感じてもらうため、偉大な作曲家の遺した素晴らしい作品に正面から取り組んで行きます。そこには、ジェネレーションギャップも乗り越えて行く力があります」

このコンクールでは、来年1月23日に斑鳩で篠崎の「公開レッスン&リサイタル」が、9月16日は神戸で、過去の出場者と現役のプロとの混合オーケストラの演奏会を企画しているという。「この演奏会に向けて、私も自身も数回のトレーニングを行う予定です。いかるが音楽コンクールとコンクール祝祭オーケストラは、人と人の繋がりを作るための音楽の輪をさらに広げる大きな一歩を踏み出すのではないかと期待をしています」